

鎌倉 ハートナーズ




第57号 平成22年(2010年)12月発行(季刊)
鎌倉市市民活動センター広報紙

目 次

セミナー報告	P 2	助成金関連情報・相談Q&A	P 6
視察報告・センター関係行事	P 3	イベント紹介	P 7
NPO支援かまくらファンド審査会	P 4~5	センターからのお知らせ	P 8



(かまくらファンド支援団体活動の様子)

「会計・法人設立・成年後見制度」 セミナー報告

10月25日(月)たまなわ交流センターで、鎌倉市市民活動センター運営会議・相談部会主催のセミナーが開催されました。テーマは、①設例によるNPO法人のための法人税申告書の書き方 ②特定非営利活動法人か一般法人か(貴方の団体に適した法人格の選択は?) ③成年後見制度について。所要時間はそれぞれ2時間程度、参加者は11名、14名、16名でした。

各セミナーとも実用的かつ充実した内容で、参加者の方々からも好評を得ました。以下は各セミナーの概要です。

◆設例によるNPO法人のための 法人税申告書の書き方◆

講師：吉野 功 [公認会計士、税理士]
(NPO法人 日本公会計支援協会鎌倉支部)

収益事業を行っているNPO法人が作成すべき法人税確定申告書の作り方の説明。

データをもとに国税庁書式などを使用し、参加者が申告書を完成させるという計算手順に合わせた説明でした。

このようなかみくだいた内容のセミナーは珍しく、会計担当者には有益なものでしたが修得するには復習が必要と思いました。



◆特定非営利活動法人か一般社団法人か◆ —貴方の団体に適した法人格の選択は?—

講師：小林茂男 (NPOセンター相談員)

法人化のメリットは、「法律行為が団体名で行える」、「補助金や委託事業が受けやすい」、「信用が増す」などがあり、一般社団法人は、NPO法人より信用度は低いですが、設立や運営が簡単、というのが主論でした。一般社団法人とNPO法人の設立手続き、会計税務比較、運営方法などの説明もありました。

具体的な法人設立検討案件がありましたら、「法人設立チェックリスト」(セミナー付属資料、当センターにもあり)の項目を記入のうえ当センターの相談日に来館してくださいとのことです。

◆成年後見制度について◆

講師：松本新二 [行政書士]
(NPO法人 神奈川成年後見サポートセンター)

制度の基本理念は、精神障害者に対し、自己決定権を尊重し、残存能力を活用し、正常生活復帰をめざして支援し、不当契約取消権行使、生命、身体、財産、自由等の権利を擁護して自立支援を目指すものということでした。

民法関連条文改正、任意後見契約に関する法律などにふれつつ、後見、保佐、補助の相違を説明。法定後見開始の申立権が市区町村長に付与されこの利用が増大中であること、後見登記が戸籍簿でなく法務局での登記に変わったことなどについても説明がありました。

今後具体的な後見相談があれば、当NPOセンターなり、各種の後見サポートセンター(弁護士グループ、司法書士グループ、行政書士グループ、任意団体グループが設立したものがある)にお問合わせくださいとのことでした。(唐島信也 記)

相談日変更のお知らせ

平成23年1月より、一部の「定例相談日」を変更します。

- ①第2月曜日を第2土曜日へ変更
- ②第4月曜日を第4土曜日へ変更
- ③両日の相談は、専門家が対応しますので1週間前までに予約をお願いします。相談の場所は、鎌倉が大船かご希望のセンターをお申し出ください。専門家のご都合とも調整して決めさせていただきます。(第1月曜日と第3月曜日の相談日は変更ありません。)

速報！開催内定

第13回 かまくら市民活動の日フェスティバル

共催：鎌倉市市民活動センター運営会議・鎌倉市

◆開催日程：2011年5月20日（金）～22日（日）

◆会場：鎌倉市生涯学習センター 1階ロビー／地下ギャラリー

※21日（土）は2階ホールも会場となります

詳細は
来春発表！

～一緒に参加しませんか～

◆フェスティバルに出展参加する団体（NPOセンター利用登録団体）を募集します

◆フェスティバルの企画運営を担当する実行委員や当日の会場スタッフを募集します

お問い合わせ：鎌倉市市民活動センター フェスティバル担当者

JR鎌倉駅地下道ギャラリー展

（11月11～17日）

JR鎌倉駅地下道ギャラリーにおいて、NPOセンター利用登録団体の活動を紹介するパネル展を開催しました。

今年は18団体と運営会議、イヤーラウンドの紹介パネル20枚を展示しました。

活動の様子が分かる素敵な作品も展示されていました。

前年同様、搬入・搬出とも展示団体の皆さんにお手伝いを呼びかけ、今年は13団体の方に協力していただきました。



玉縄祭り参加

（11月13日）

NPOセンターのPRを兼ねて玉縄祭りに参加しました。

「古本市場」で本を選ぶ子どもたちの目は真剣そのもの。大人向けの本にも興味をもって手にする子どもも多く見られました。

「プリクラ作成」にはKSネット交流会の方がお手伝いいただきました。



「市川市NPOセンター」訪問

研修部会

研修部会では近隣自治体の市民活動センター訪問シリーズの一環として、10月15日に千葉県市川市の市民活動団体「いちかわライフネットワーククラブ」と「市川市市民活動センター」を6名で訪問した。

市川市は「市民が納入する市民税の1パーセントを自分が選んだ市民活動団体の活動を支援する資金として提供しよう届出（投票）する」という「1パーセント条例」を全国に先駆けて制定した自治体である。

「いちかわライフネットワーククラブ」はその支援を受けて活動資金の一部にしている団体であり、JR本八幡駅のすぐ近くの「いちかわ情報プラザ」ビルの2階に陣取って「いちかわ情報プラザ」の管理とパーティーションで仕切った「インキュベーション施設」「SOHOブース」を設置し、起業を目指す人達に貸与して、相談・支援をしている。また、自らパソコン教室を開催し、シニア情報生活アドバイザーの養成を通して情報発信や地域住民同士の交流の場を提供している。

「市川市市民活動センター」は市役所の「企画部ボランティア・NPO担当」の部署であり、公設公営の市民活動センターで「1パーセント支援制度」の推進を一手に引き受けて、寺沢マネージャの下で市川市の市民活動の活性化に情熱を注いでいる。

鎌倉市とは全く異なる市民活動体制をとる自治体であるが、市民活動団体の活動は活発で相互連携を取りあっているとのことであり、大変参考になる訪問であった。（奥野 晃 記）

平成22年度

NPO支援かまくらファンド審査会 報告

11月3日、快晴となった文化の日、恒例の「NPO 支援かまくらファンド審査会」がたまなわ交流センター会議室で行われました。

午前中は前年度支援を受けた4団体の成果発表、午後からは今年度応募団体のプレゼンテーションが行われました。公開審査会后、4名の審査員による採点の結果、4団体に決まりました。

かまくらファンドとは...

鎌倉市の市民活動は活発に展開されています。しかし、多くの活動団体は規模が小さく資金的に不安定です。市民活動の資金調達は自助努力が基本ですが、新たな一歩を踏み出そうとする市民や活動団体、資金調達が困難な団体への活動資金を支援します。

熱いプレゼンテーション！
活動資金獲得！！



平成22年度助成団体 (活動内容)

- ◆自然環境と人間生活を考える会 (国際理解のための活動)
 - ◆鎌倉評論社 (鎌倉市民の声を伝える活動)
 - ◆鎌倉ベジカルチャーmap (菜食文化を広める活動)
 - ◆鎌倉ガーディアンズ (市民の手で行事等の警備をする活動)
- 〈↑ 2年連続の支援となりました〉

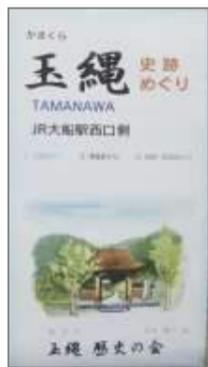
鎌倉ガーディアンズ

当NPOは鎌倉花火大会等の主要行事や自治会の祭りの警備を行う団体で、先日はAPEC 鎌倉地区警備に参加しました。鎌倉ファンドは奉仕的に活動するメンバーの負担軽減のための貴重な資金として大いに助かっております。



玉縄歴史の会

ファンドの助成、誠にありがとうございました。「玉縄史跡めぐり」のマップは、地域内小学校の生徒達に無償で配布、また地域の歴史等に興味ある方には、実費で頒布する予定であります。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



昨年のファンド助成団体からの報告

青空自主保育でんでんむし

鎌倉の豊かな自然の中で子どもを育てる活動にご賛同頂き、自主保育への周囲の理解をより深める活動を、小冊子配布等を通して行いました。ファンドの方々の温かい目線や他団体の熱心な活動に触れ、とても励みになりました。



ゆうふう

游風

では、イベントでのゴミ削減を目的として、リユース食器の手配や会場での利用支援を行っています。それらの活動を鎌人いち場やその他で行う際に助成金がとても助けになりました。ありがとうございました。



審査員の方々

- 小山 賢太郎さん (マンガ家)
- 阿部 栄子さん (鎌倉の市政を語る会代表)
- 出川 克己さん (運営会議理事長)
- 渡邊 公子さん (事務局長)



審査委員長の小山様から総評があり、「どの団体も素晴らしい活動をしている。これに点数をつけるのはおこがましいが、慣例でやむを得ずおこなった。」というお言葉を頂きました。

ファンド資金は

一般企業や市民、鎌倉市市民活動センター登録団体からの寄付、運営会議正会員がお祭りやイベントで集めたお金から成り立っています。11月に「大船観音寺」様・「6人会」様・「朋ボランティアグループ」様よりファンドへの寄付をいただきました。ありがとうございました。



神奈川県ともしび推進助成金を受給して



朋ボランティアグループ・結の技市実行委員会 齊田聖子

朋ボランティアグループが事務局となっている「結の技市」で、神奈川県のともしび推進助成金を活用し、事業を実施しました。

結の技市は、2007年から扇が谷の「結の蔵」前広場で、10、11月の土・日・祭日に、福祉団体が日替わりで出展販売し、障害のある人たちの手仕事(技)の実演を行っています。

神奈川県社会福祉協議会(県社協)には、平素から「朋」としてボランティア募集や研修会の後援を依頼しています。「結の技市」でも、第1回目から後援をいただき、それ以外にも運営面への助言、費用面での援助など協力をお願いしています(後援依頼の書類に記載)。昨年、助成金の話を聞きましたが、開催直前だったので申請はできませんでした。

今回は7月に、主に事業のスタッフの人件費と出展する福祉団体の負担軽減に助成金を活用したいと相談に行きました。けれど、ともしび助成金は、人件費には使えない、広く県民に関わる事業が対象になり、福祉団体の出展販売だけでは対象にならない、とのことでした。そこで、毎年ワークショップもしていることを話すと、ワークショップを事業として広げて、助成金申請をしてみたらどうかと提案してくれました。

そして、年3回募集のうちの3回目への申請を決めました。その時が7月末。8月は書類作りに追われました。担当者の方が、書類の種類や予算の立て方などざっと指導してくれ、企画書、申請書、実行委員会としての会則や事業計画、予算書、会員名簿など作成。8月半ばに申

請書を提出。並行して出展団体募集、広報チラシ作成、実行委員会会議と進めました。

※助成金はワークショップ事業の費用のみが対象になり、その2/3が助成されます。今回は、障害のある人にワークショップの講師としてきてもらい、おもにその謝礼金として申請しました。

鎌倉NPOセンターの相談部会には、申請書類作成段階と計数整理のことで相談に乗ってもらいました。9月に助成が決定！そして10、11月には出展販売に合わせ、蔵の中でワークショップを全10回開催しました。ともしび助成金事業と銘打っての出展募集を、県内幅広く郵送したせいか、福祉団体も多く集まり、運営スタッフも、実行委員と結の技市のボランティアでできました。

申請してよかったことは、助成金申請をきっかけにワークショップ事業として大きくできたこと、いままであいまだった実行委員会を小さくても組織化できたことです。反省点としては、短い期間で、申請準備と実施事業の準備を並行して進めたこと。前もってしっかり準備をすれば事業の中でもっとできたことはいっぱいあったと思います。

ともしび助成金は、申請が初めてという任意団体が多く、申請をきっかけに団体を組織化できたりした例もあるそうです。小さな団体の実情もわかったうえで相談しながら進められるので、初めての団体も申請しやすいのではないかと思います。みなさんもぜひ活用してみてください。



相談 Q&A

非営利型一般社団法人と営利型一般社団法人の違い

Q：新しい公益法人制度による一般社団法人は非営利型法人と営利型法人に分けられるとのことですが、非営利型の一般社団法人と営利型の一般社団法人とはどのように違うのでしょうか。

A：端的に言いますと、非営利型の一般社団法人は法人税法上の公益法人ですが、営利型の一般社団法人は公益法人ではありません。そのために前者は収益事業にのみ課税されますが、後者については会費収入や寄付金収入などすべての所得に対して課税されることになります。

非営利型の法人の要件としては、①剰余金の分配を行わない旨の定款の規定があること、②解散した時の残余財産が国や公益法人などに帰属する旨の定款の規定があること、③過去において上記①及び②の規定に違反したことがないこと、並びに④理事が3名以上でそのうちの親族の数が3分の1以下であることが求められています。さらに事業のうち主たる事業が収益事業でないこと、などとされています。



イベント情報

鈴木エイ子氏を偲んで

2010年3月に他界された鈴木エイ子氏を偲び、追悼公演を開催します。

開催日時：平成23年1月5日(水)19:00 開場 18:30

会場：藤沢市民会館 大ホール

参加費：入場無料

出演者：大石玲 永縄真百合 井内俊一 岡庭秀之
田中まさよし 小西直之 他

主催：鎌倉芸能クラブ

協力：演劇実験室◎万有引力・開座・とりふね舞踏舎
遊行舎・鎌人いち場実行委員会 他

連絡先：0467-46-2892(鎌倉芸能クラブ 塚原)

E-mail: katumi@mrj.biglobe.ne.jp(塚原)

第31回「こころ・生き方」講座(全5回)

「こころ」は頭で既成の理論や技術では理解不可能。「こころ」は“人間力(感受性・人間性・実存性)”が問われる。視点認識の再構築。

日時：平成23年1月21日、28日、2月4日、18日、25日
(全て金曜日)10時～12時

場所：きらら鎌倉集会室または臨床共育心理実践研究所

参加費：5日間で5000円

講師：渡邊八郎

主催：臨床共育心理実践研究所

問合せ先：TEL/FAX 0467-23-3828

〒248-0024 稲村ガ崎3-12-1

E-mail: hachiroh@mx10.ttcn.ne.jp

民俗学研究者 佐伯仁の第7回映像講演会

相撲と日本人—そもそも日本の相撲とは—

開催日時：平成23年1月16日(日)10:00～11:30

会場：鎌倉生涯学習センター 第6集会室

参加費：500円

主催：自然環境と人間生活を考える会

後援：鎌倉市教育委員会

申込先：090-4710-3790(渡邊)

E-mail: tm6903@live.jp(渡邊)

中高齢者の社交ダンス 入門コース体験講習会

社交ダンスで仲間を作り、高齢社会を楽しく生きよう

開催日時：平成23年1月29日(土)13:00～15:00

会場：湘南ダンス学院(そうてつローゼン深沢店3F)

参加費：無料

主催：NPO法人全日本シルバー社交ダンス普及協会

後援：鎌倉市教育委員会

問合せ先：0467-61-3021(山本)

H P: <http://www.npodance.com/>

玉縄歴史アカデミア 連続セミナー 「ここを知りたい! 玉縄城」 Vol. 8

【軍記から読み解く玉縄城の暮し】

都の冷泉家との交流。城内にはマリケバもあり蹴鞠名手の城主たち。書、絵にも優れ、出陣の作法書も残っていたそうです。

開催日時：平成23年1月29日(土)13:30～16:30

会場：玉縄学習センター 3階 第4集会室

講師：森 暁子(お茶水女子大 大学院生)

参加費：500円(資料代を含む)

主催：玉縄城址まちづくり会議

後援：鎌倉市教育委員会

問・申先：TEL/FAX 0467-45-7411(荒井)

1月9日からFAX、メールで受付

E-mail: artbank21@nifty.com

H P: <http://www48.tok2.com/home/tamanawajyo>

鎌倉の里山が育てた子どもたちの記録映画 完成披露上映会 & 記念講演

『さあ のはらへいこう』～青空自主保育の3年間～

開催日時：平成23年2月6日(日)

第1回 10時～12時 第2回 14時～16時

会場：鎌倉生涯学習センター ホール

入場料：前売り 大人1000円 子ども500円

当日 大人1200円 子ども 600円

託児：未就学児対象(0歳から可) 定員になり次第締切
要事前予約(1月より受付) 問合せ先と同じ

主催：かまくら子育て支援グループ懇談会/鎌倉市

協力：青空自主保育なかよし会

問合せ先：080-3000-4610(10時～17時)

H P: <http://noharaheikou.seesaa.net/>

＜協働事業推進のための研修会＞

「持続可能な協働のしくみを探る」

開催日時：平成23年2月4日（金）13：30～16：30

会場：鎌倉市第三分庁舎講堂（定員60名）

パネリスト：杉山 敦彦氏〔我孫子市職員〕

土屋真美子氏〔(特非)アクションポータル横浜理事〕他

対象：協働事業実施団体、会員、市民、行政職員

共催：鎌倉市市民活動センター運営会議／鎌倉市

申し込み：先着順（職員は30名程度参加）

保育（要事前申し込み）

講演会・研修会のお知らせ

＜講演会＞

「1%支援制度と市民活動活性化」

開催日時：平成23年3月20日（日）午後

会場：鎌倉市福祉センター 第1・2会議室

講師：寺沢和博氏〔市川市企画部ボランティア・NPO担当の「担当マネージャー」〕

主催：鎌倉市市民活動センター運営会議研修部会

NPOセンターからのお知らせ

第2回利用登録団体懇話会開催

平成22年度第2回利用登録団体懇話会を次のとおり開催いたします。お誘い合わせの上、ご参加ください。

★日時：平成23年1月22日（土）15時～18時

★場所：NPOセンター大船

★内容：参加団体の活動紹介（映像での紹介も可）

センター運営状況と今後の予定、交流親睦会

※詳細は別紙「お知らせ」をご覧ください。

お忘れ物を展示いたします

両センターで、お忘れ物を展示しますので、来館時にご確認ください。（傘、帽子、タオル、リュックサック等）

展示後、来年1月になりましたら処分させていただきますので、ご了承ください。

2色刷り印刷機見学会のお知らせ

2色刷り印刷機の使用体験見学会を開催します。

1度に2色で両面印刷ができる印刷機です。

日時：平成22年12月24日（金）10時～

場所：NPOセンター鎌倉

見学ご希望の方は、NPOセンター鎌倉にお申し込みください。（先着8名）

新規登録団体の紹介（平成22年12月1日現在）

☆ひまわり教室：集団生活、学校生活において困難を感じている子どもの学習支援及びソーシャルスキルトレーニングの実施等を行う活動

☆かまくら地域医療懇話会：地域医療提供者、受益者の連携を通じて、一次医療機関を持たない鎌倉市において医療機会の充実を目指す活動

☆梶原子ども会館を考える会：子育て支援の拠点を考え、子どもの居場所作りに努める活動。梶原子ども会館の有効利用を考える活動

新スタッフ紹介

11月より、大久保敦子、山本陽子の2名がスタッフとして加わりました。よろしくお願い致します。

第14期パソコン教室スタート

1月13日より、第14期パソコン教室がスタートします。詳細は、チラシ、広報「かまくら」をご覧ください。

平成22年12月1日現在 利用登録団体数：385団体

お願い 利用登録団体の登録内容（連絡先・代表者・活動内容等）が変更された場合は速やかにご連絡ください。

発行：鎌倉市市民活動センター

編集：特定非営利活動法人 鎌倉市市民活動センター運営会議 広報部会

<http://www3.ocn.ne.jp/~npo-kama/>

NPOセンター鎌倉

〒248-0012 鎌倉市御成町 18-10

TEL:0467-23-3000 内線 2655

TEL:0467-60-4555(直通)

FAX:0467-61-3928

E-mail:npo@chive.ocn.ne.jp



NPOセンター大船

〒247-0061 鎌倉市台 1-2-25

(たまなわ交流センター 1階)

TEL/FAX:0467-42-0345

E-mail:npo2@abelia.ocn.ne.jp